



中之島だより

令和6年3月号

和歌山市立中之島小学校



いい形でしめくくろう！

【校長 太田 謙二】

まだまだ寒い日もありますが、少しずつ日差しが暖くなり、春めいてきました。和歌山は、3月20日ごろ桜が開花すると予想されています。いよいよ今日から3月。今年度も残りあとわずかとなり、1年間のまとめの時期となりました。先月は、お忙しい中、今年度最後の授業参観・懇談会に、ご出席いただきありがとうございました。子供たちががんばっている姿、この1年間、大きく成長した姿を見ていただくことができたかと思います。

さて、3月は、**卒業式**という学校の中で一番重要な行事があります。それに先だって、今月4日（月）には、「卒業を祝う会」を、今年度は、全校児童が一堂に会して開催する予定です。各学年が、卒業をする6年生に対して、これまでの感謝とお祝いの気持ちを伝えようと発表の準備を進めてくれています。とても楽しみです。



そして、18日（月）には、第148回目となる中之島小学校卒業式を挙行いたします。6年生の子供たちは、委員会活動や掃除、学校行事等で、学校のリーダーとしてとても活躍してくれました。6年生が学校へ来るのは、卒業式を入れて残りあと12日。4月からの新たな中学校生活へ向けてしっかりと準備をするとともに、残りの小学校生活を大切に過ごして、いい思い出をたくさん残して欲しいと思います。



また、在校生は、残りあと14日で今年度の教育課程を修了することになります。4月から学年が一つずつ上がります。新しい学年でいいスタートが切れるよう、いい形でこの3月をしめくくってください。特に5年生は、6年生のバトンをしっかりと受け取り、この中之島小学校のいい伝統を引き継いでいってくれることを期待しています。

この1年間、保護者の皆さま、地域の皆さまには、本校の教育活動に多大なるご支援、ご協力いただきましたことに心より感謝申し上げます。次年度へ向けていい形でしめくくることができるよう、教職員一同力を合わせてがんばってまいります。保護者の皆さま、地域の皆さま、今後ともどうぞ、ご支援、ご協力をよろしく願いたします。